

# ライフエンジニアリングコース（修士課程）

## アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

ライフエンジニアリングコースは6つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）を掲載しております。

### 【機械系】

機械系では、次のような人材を求めます。

- ・機械工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・機械工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・機械工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

### 【電気電子系】

電気電子系では、次のような人材を求めます。

- ・電気電子工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・電気電子工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・電気電子工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

### 【情報通信系】

情報通信系では、次のような人材を求めます。

- ・情報通信工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・情報通信工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・情報通信工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

# ライフエンジニアリングコース（修士課程）

## アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

### 【材料系】

材料系では、特に次のような学生を求めます。

- ・材料科学および材料工学における新しい研究領域に果敢に挑戦する気概を有する人
- ・材料科学および材料工学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有する人

### 【応用化学系】

応用化学系では、特に次のような学生を求めます。

- ・応用化学における科学と工学の新しい研究領域に果敢に挑戦する気概を有する人
- ・応用化学における科学と工学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有する人

### 【生命理工学系】

生命理工学院修士課程では、生命理工学分野の高度な専門知識を修得させ、生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題設定力と高度な課題解決力、ならびに高い倫理観と国際性を養います。

そこで、本系では次のような人材を求めます。

- ・理工系の基礎学力と生命理工学分野の基礎的専門学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる
- ・国際的な視野から生命理工学分野の研究・技術開発を進めるために必要な語学力を有している
- ・生命理工学研究に対する強い関心と生命に真摯に向き合う倫理観を有している

# ライフエンジニアリングコース（修士課程）

## アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

ライフエンジニアリングコースは6つの系に関係するため、それぞれの系のアドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）を掲載しております。

### 【機械系】

機械系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、機械系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

### 【電気電子系】

電気電子系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、電気電子系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

### 【情報通信系】

情報通信系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、情報通信系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

### 【材料系】

材料系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、材料系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

### 【応用化学系】

応用化学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、応用化学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

### 【生命理工学系】

生命理工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、生命理工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

# ライフエンジニアリングコース（修士課程）

## カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

### A) ライフエンジニアリング分野の共通専門基礎学修

ライフエンジニアリングの習得に必要な共通専門科目や専門実践科目の学修

### B) ライフエンジニアリングに関する応用学修

材料、応用化学、機械、電気電子、情報通信、生命理工系の専門科目群のライフエンジニアリングに関連する多数の科目の中から、自身の専門分野および他専門分野の学修

### C) 課題解決能力を醸成し、主体的に進める学修

身に付けた専門知識・応用力を活かして、研究活動を行い、主体的に取り組む力・課題解決能力を習得

### D) 社会との関わりを体験する学修

社会で活躍する講師陣らの講義や、学外機関での研究経験を通じ、研究課題と社会との関わりを体験し、技術者倫理を理解する学修

### E) コミュニケーション能力の強化学修

国内外の研究者との討論等を通じた、プレゼンテーション能力・文章校正能力を養う学修

### F) 教養力・人間力涵養のための学修

教養科目やキャリア科目を履修し、高い教養力や人間力を涵養

## ディグリー・ポリシー（修得する力）

本コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・ライフエンジニアリングのために必要不可欠なヒューマンサイエンス、医療・健康科学、生命倫理、ひとが関わる環境に関する知識
- ・各専門分野におけるライフエンジニアリングの高度な知識と技術
- ・異分野の専門分野を理解できる基礎専門力
- ・各領域における課題や問題解決手法の融合により、新しい領域の開拓に挑戦できる能力
- ・社会との関係の中で課題設定でき、自分のもつ技術と創造力を活かし問題を解決する能力
- ・自身の考えや技術を相手に正しく伝え、協同して課題に取り組めるコミュニケーション力とリーダーシップ